評価方法

１．
授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が本学則に定める授業時数の３分の２に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。なお、実習については、それぞれの施設に応じた日数の実習参加、及び施設からの実習評価をもって成績評価を行う。
但し、原則として、前期試験については７月２７日までに前期分学費、後期試験は１２月２７日までに後期分学費の納入が確認できない場合、試験は受けられるが、成績評価を受けることができない。

２．
成績の評価と評価基準は以下の通りである。
Ｓ、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅ、Ｎで表し、Ｃ以上が単位を付与される。
９０点以上をＳ、８０点～８９点をＡ、７０点～７９点をＢ、６０～６９点をＣとして認定し、５９点以下をＤ（不合格)、出席不足をＥ、認定科目をＮとする。
また、ＧＰＡ（Grade Point Average）を導入し、学内成績評価として使用している。ＧＰＡは生徒の履修した１授業科目あたりの平均成績を指すため、（Ｓ×４＋Ａ×３＋Ｂ×２＋Ｃ×１）の合計を、各生徒が履修した総授業数で除して算出する。

2026 年度　日本児童教育専門学校